

東大阪市医工連携プロジェクト創出事業

- 取り組みと成果 -

医療機器の国産自給率の向上に貢献します

東大阪市・（公財）東大阪市産業創造勤労者支援機構では、2016年度より市内モノづくり企業の高い技術力やネットワークを活かし、医療・健康・介護分野への新規参入、事業拡大を促進するため「医工連携プロジェクト創出事業」を進めています。

- 東大阪市役所モノづくり支援室
06-4309-3177 monodukuri@@city.higashiosaka.lg.jp
- （公財）東大阪市産業創造勤労者支援機構
06-4309-2301 info@hispa.biz-web.jp



人材育成

- 医療機器ビジネス参入のための人材育成プログラム
- 医療機器企業との取引開始を目指すステップアッププログラム
 - ・医療機器企業を知る
 - ・提案資料のブラッシュアップ
 - ・AIを活用した提案力を身につけるなど

販路開拓

- 国際見本市「MedtecJapan」
- メディカルメッセ
- メディカルクリエーションふくしま
- 日本臨床工学会など関連学会
- 医療機器メーカーでの技術展示会
- メディカルヒルズ本郷での展示会
- 医療機器企業をターゲットにしたモノづくり企業ツアー
- オンライン展示商談会
- その他イベント

ネットワーク

- 大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院 他医療機関
- 大阪大学歯学部・歯学系研究科
- 大阪歯科大学医療イノベーション研究推進機構
- 未来医療推進機構（中之島クロス）
- 日本の技術をいのちのために委員会
医療健康機器開発協会など支援団体
- 関西・関東圏を中心とした医療機器メーカー
- 関西医療機器産業支援ネットワーク
（17の自治体・支援機関と連携）
- 大阪医療機器協会、日本医療機器協会
など業界団体
- 日本臨床工学技士会、大阪臨床工学技士会
他多数

製品開発 専門家相談サポート

- 医工連携アドバイザーによる相談
 - ・医療分野への参入
 - ・医療分野におけるモノづくり
 - ・知財戦略
 - ・薬事戦略 など
- O-Nexus（中之島クロス9階）
に相談窓口を設置。
 - ・大手企業、スタートアップ企業等とのマッチング支援
- 医工連携プロジェクト創出事業
助成金 上限400万円

大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院との連携推進協定

自治体として唯一



- 健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向け、組織、分野を越えた多様な連携の推進
- 健康・医療分野における研究成果や医療現場等における課題解決のための東大阪市内モノづくり企業による機器開発などの事業化

2016/4/12

大阪大学産学連携・クロスイノベーションイニシアティブの 構成メンバーとして職員が参画

2015 (H27年)	 三井住友銀行 株式会社三井住友銀行	 ロート製薬 ロート製薬株式会社	 株式会社ダイセル
2016 (H28年)	 大日本印刷 大日本印刷株式会社	 東大阪市	 大阪商工会議所 大阪商工会議所
2017 (H29年)	 三井住友海上 三井住友海上火災保険株式会社	 dentsu 株式会社電通	 東京理科大学 TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE 東京理科大学
2018 (H30年)	 SARAYA サラヤ株式会社	 SEKISUI HOUSE 積水ハウス株式会社	 小林製薬 小林製薬株式会社
2019 (R1年)	 NISSAY 日本生命保険相互会社	 Johnson & Johnson ジョンソン・エンド・ジョンソン	 BIPROGY BIPROGY株式会社^{※1}
2020 (R2年)	 Fujikin 株式会社フジキン	 DAIKIN ダイキン工業株式会社	
2021 (R3年)	 三菱商事 三菱商事株式会社	 UHA 味覚糖 ユー・ハ味覚糖株式会社	 三井不動産 三井不動産株式会社
2022 (R4年)	 Aflac アフラック生命保険株式会社	 大阪大学 一般社団法人健康医療クロスイノベーションラボ 一般社団法人健康医療クロスイノベーションラボ	
2023 (R5年)	 Panasonic パナソニックホールディングス株式会社^{※2}	 SHIP HEALTHCARE シップヘルスケアホールディングス株式会社	
2024 (R6年)	 USHIO ウシオ電機株式会社	 日本臓器製薬 日本臓器製薬株式会社	 SN Stella Nest株式会社^{※3}
2025 (R7年)	 Iwatani 岩谷産業株式会社	 ふくしま医療機器開発支援センター （一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構）	 PITTAN 株式会社PITTAN
2026 (R8年)	 Medical Village メディカルビレッジ	 MCO GROUP DUBAI エムシーオーグループドバイ	 OMRON オムロン株式会社
2027 (R9年)	 WuXi AppTec 株式会社WuXi AppTec Japan	 Mizuho ミズホ株式会社	
2028 (R10年)	 JETRO 独立行政法人日本貿易振興機構 大阪本部	 香味醗酵 匂いを数値化する会社 株式会社香味醗酵	 IMI アイ・エム・アイ株式会社
2029 (R11年)	 SEKISUI 積水化学工業株式会社	 MUFG 三菱UFJ銀行 株式会社三菱UFJ銀行	



× 45

2026年2月 現在
包括連携協定締結機関／協働機関

大阪大学大学院歯学研究科及び歯学部附属病院との 歯科領域における医療機器開発に関する連携協定



- (1) 歯科医療現場におけるニーズの情報提供
- (2) モノづくり企業の技術や製品などシーズの情報提供
- (3) 医療者とモノづくり企業、医療機器企業などの
マッチングの機会提供 他

2019/2/1

未来医療国際拠点「Nakanoshima Qross」との連携協定

自治体として初



2025/2/6

中之島クロス(未来医療国際拠点)との連携

MONOZKURI CITY

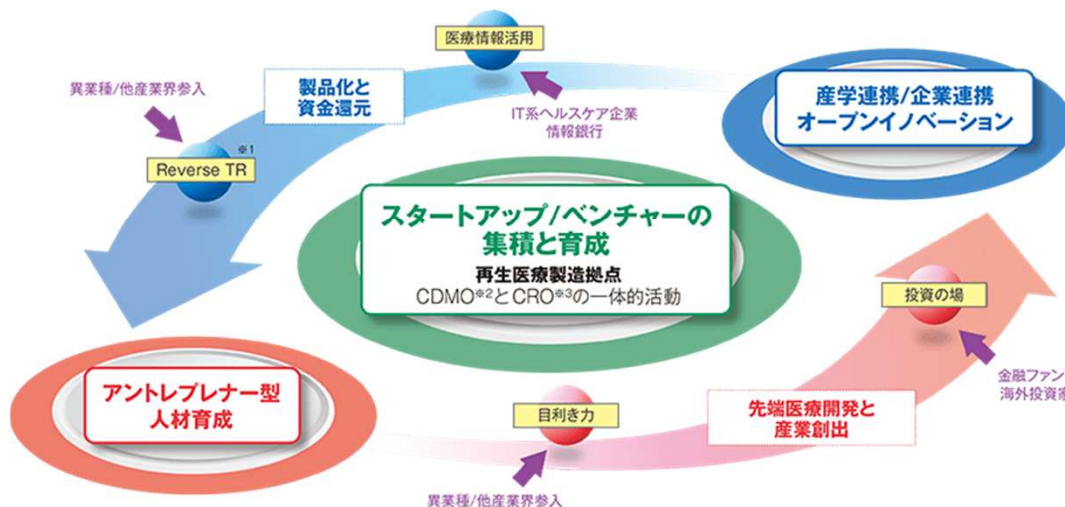
Nakanoshima **Q**ross



HIGASHI-HOSAKA

WHERE THE ANSWER IS

未来医療イノベーションエコシステム



©Nakanoshima Qross ホームページから掲載

日本一の企業集積地
約5,500社の「モノづくりクラスター」

【エコシステムの一翼を担う】
高い技術力と企業間ネットワークにより
研究成果の社会実装・事業化の促進に貢献

- 医療・ヘルスケア関連企業やスタートアップ企業との交流・マッチング
- 試作・設計・開発・部品・部材の供給
完成品の量産化 など

大阪歯科大学・市東歯科医師会・市西歯科医師会 との包括連携協定

4者協定

東大阪市内モノづくり企業発
医療現場の課題解決に向けた新たな連携体制を構築



【大阪歯科大学】

- 医療機器の開発段階に応じた適時適切な伴走支援
- 医療機器の承認審査についてプロセスに応じた申請支援
- 医療機器の開発に係る人材育成の機会提供
- モノづくり企業と医療機器等製造販売業者などとのビジネスマッチング
- 大阪介護老人保健施設協会によるフィールドテストの受け入れサポート ほか

【東大阪市】

- 医療現場のニーズに応じたモノづくり企業の探索・マッチング支援
- 開発に係る補助金交付

【東大阪市東歯科医師会／東大阪市西歯科医師会】

- 医療機器の開発段階における治験の受け入れサポート
- 歯科医療の現場ニーズの情報提供

2025/8/19



東大阪市医工連携研究会

【ミッション】

東大阪市の技術力とネットワークをもって
国産医療機器の創出・安定供給に貢献する

【活動方針】

医療機器企業とのネットワークの構築と強化により
医療分野のビジネス案件を呼び込む仕組みをつくる

【登録企業】

医療機器分野に

実績のある・参入に意欲的な

市内モノづくり企業 69社

(2026/5 現在)

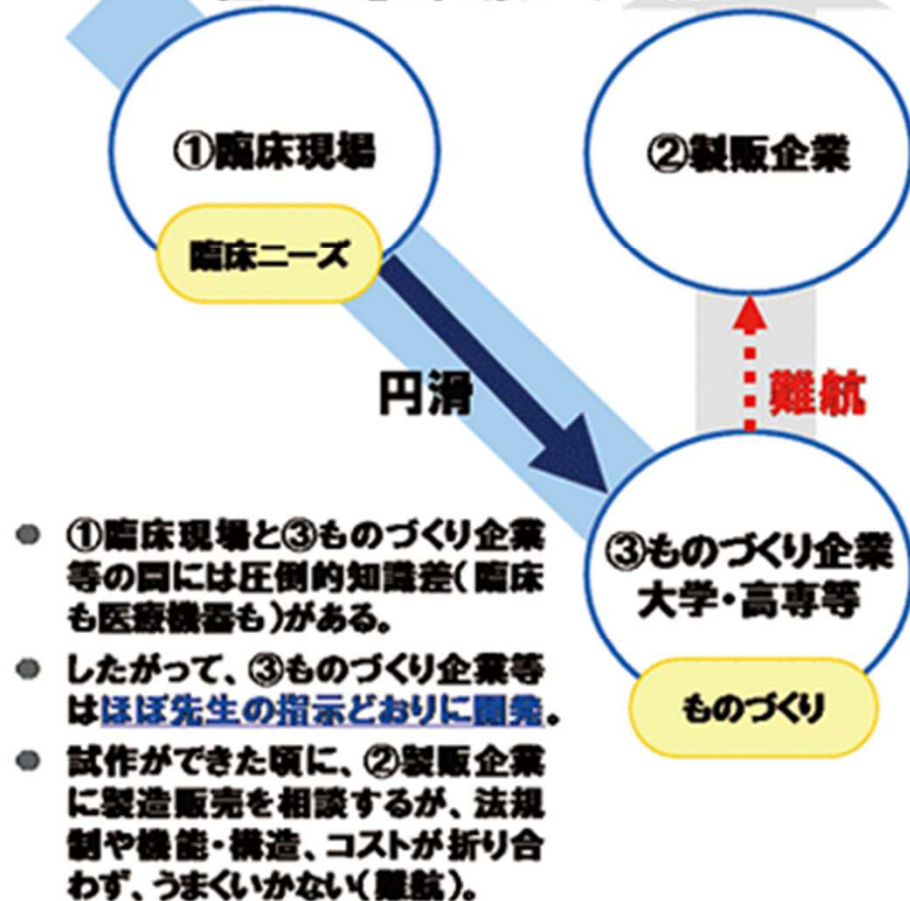
【重点領域】

- 部品・部材の供給
- 試作・設計・開発
- OEM／ODM

『製販ドリブンモデル』

メインターゲット = 医療機器企業様

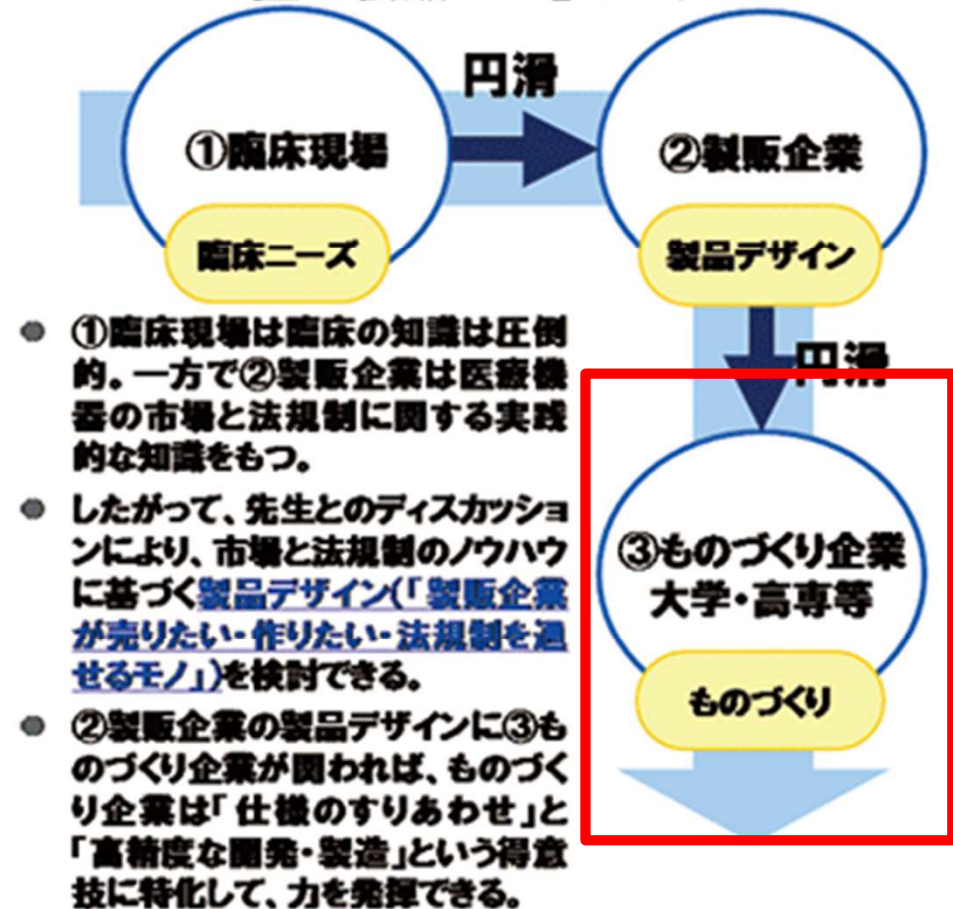
従来の医工連携モデル 「医→工」を直接つないだ



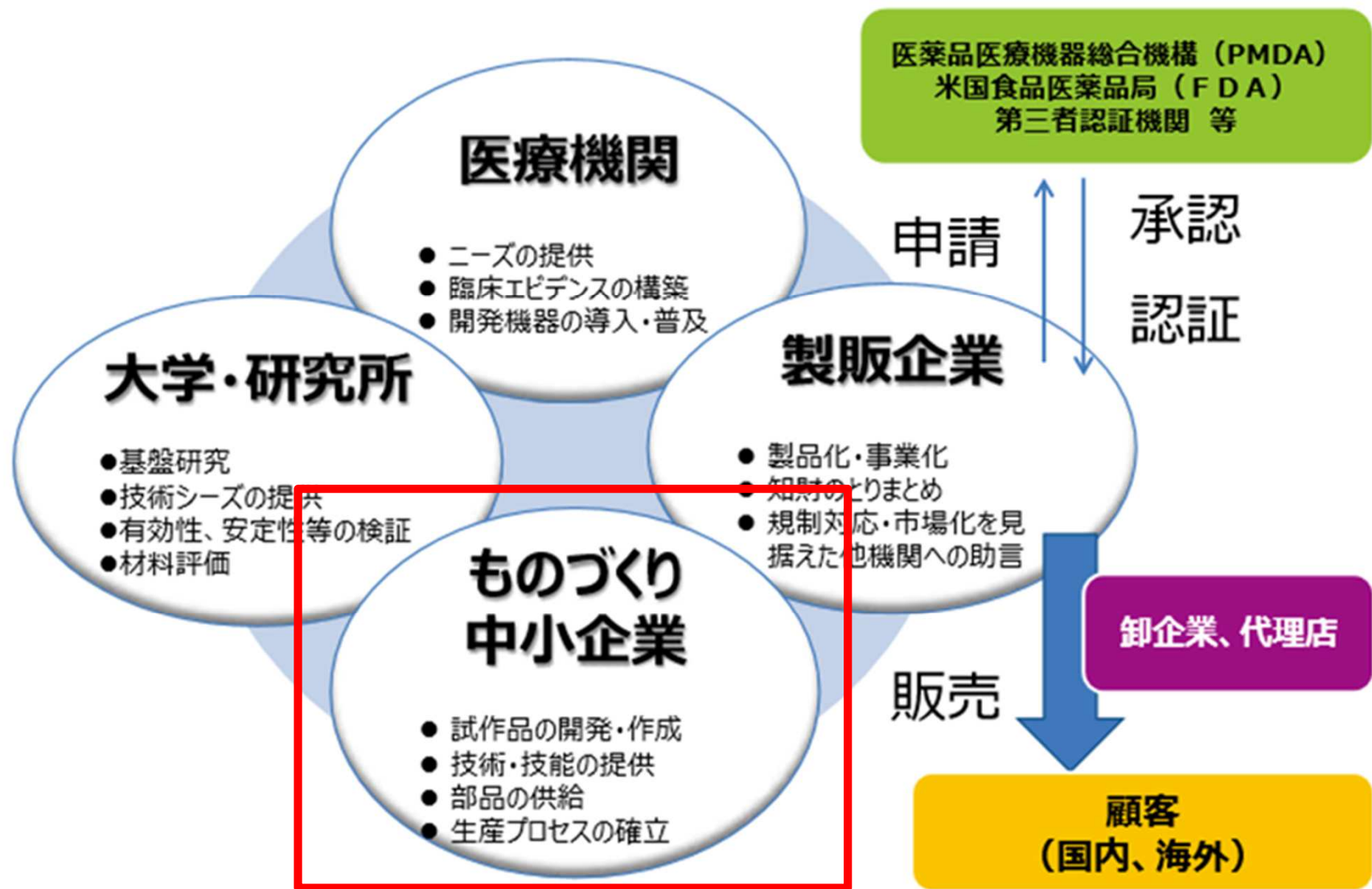
製販企業からしばしば聞かれるフレーズ

「いいものができたら、売りますよ」

製販企業ドリブン型・医工連携モデル 「医→製販→工」とつなぐ



臨床ニーズオリエントな製品デザインが構築される



モノづくり企業にとって
高い参入障壁

- ・ 複雑な法規制
- ・ 独特な商習慣・販路開拓の困難性
- ・ 事業化に要する期間の長さ



製販企業

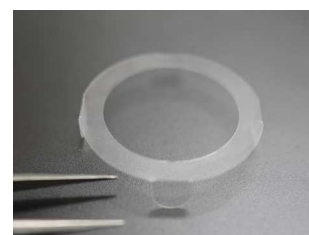
- ・ 法規制に関するノウハウ
- ・ 販売ネットワークを保有
- ・ 市場ニーズ調査など経験が豊富

医療機器企業や医療機関からの医療分野の相談案件 1269 件

(平成28年度～令和8年3月 ワンストップ相談窓口・市モノづくり支援室受付件数)

【本事業を通じた市内企業とのマッチング事例】

- 大研医器株式会社(大手医療機器メーカー)×株式会社仁張工作所
手術用吸引器の架台部分(板金加工)の製造。
- 大阪大学発スタートアップ企業
細胞分析装置の試作、設計、開発、量産まで事業化全般。上市済み。
- 大阪大学発スタートアップ企業
心不全患者の再入院を抑制する在宅モニタリングシステム
- 大手医療機器メーカー
健康診断用新医療機器の「センサー部品」の開発・量産。
将来的には数億枚の市場性。
- 大阪大学フォトニクス生命工学研究開発拠点
マイクロ流体チップ用フィルム加工



受注件数・金額
(17社から回答・見込み含)

65件・130,953万円以上

大阪の自治体として初めて・唯一 医療機器企業の集積地「メディカルヒルズ本郷」にて 展示商談会を開催

医療機器ビジネスの新たなパートナーと出会う
モノづくりのまち 東大阪による **本郷展示商談会**
(地独)大阪産業技術研究所 連携

『部品・部材の供給』『試作・設計・開発支援』
『OEM/ODM生産』

日本一の医療機器企業
の集積地 **本郷**
Higashiosaka
Hongo

日本一の
モノづくり企業
の集積地 **東大阪**

**日本一の
コラボレーション**

平成29年12月13日(水)
展示商談会 13:00 ~ 17:30
交流会 18:00 ~ 19:00
※出展企業など詳しくはwebを検索下さい。 本郷展示会 検索

出展企業
16社

初開催



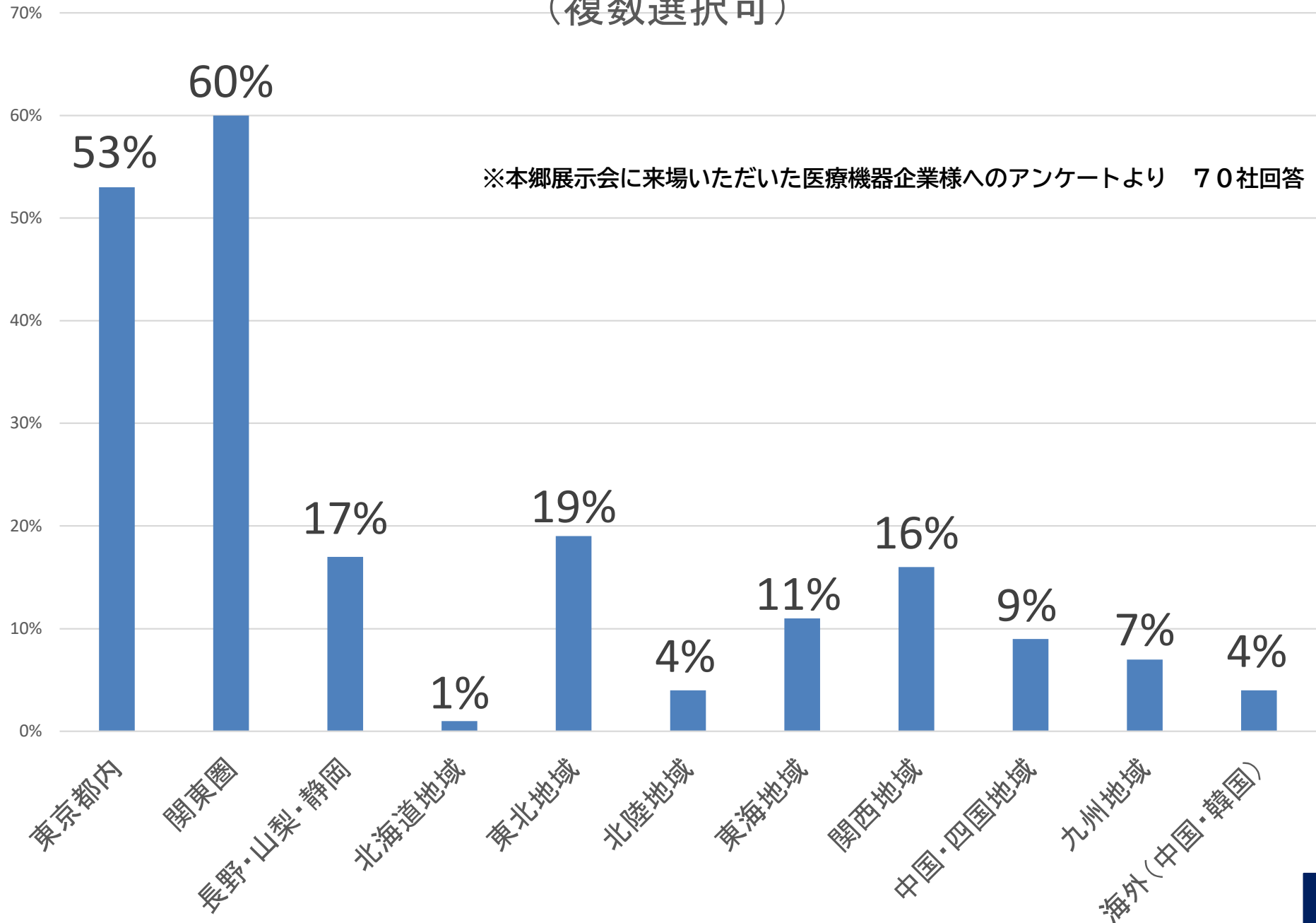
【数字で見る実績:出展企業29社】(※2回の延べ数字)

- 来場者:260名
- 名刺交換数:794件
- 引合・商談件数:160件
- 今後具体的な取引につながる可能性のある件数:63件

【成果】

- 医療機器業界へ「東大阪」という強いインパクト
- 首都圏の医療機器企業とのネットワーク構築
- 参加企業の新規受注の獲得

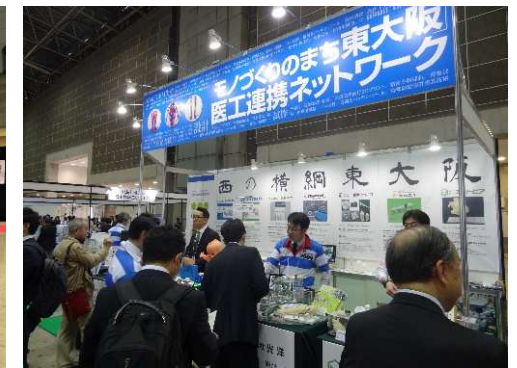
現在取引のあるモノづくり企業の主な所在地域 (複数選択可)



医療機器の製造・設計に関する国内最大の展示会 「東大阪医工連携ネットワーク」として共同出展

毎年4月 東京ビッグサイトにて開催

Japan
Medtec



【数字で見る実績：出展企業31社】(※7回の延べ数字)

- 名刺交換数：2549件
- 引合・商談件数：198件
- 今後具体的な取引につながる可能性のある件数：93件
- 受注件数：19件以上

【令和7年度 展示会・学会】

●第35回日本臨床工学会

会期：5月17日－18日

会場：グランキューブ大阪



●国際見本市「Japan Health」

会期：6月25日－27日

会場：インテックス大阪



Japan Health

By Informa Markets



上記、展示会・学会を通じて

●具体的な相談案件: **24件**

「オンラインマッチング商談会」 -オールジャパンでの医療機器開発を目指して-

【背景】 コロナウイルスの感染拡大から、メドテックジャパン2020が急遽開催延期になったことを受け、本市が全国の支援機関、自治体、関係団体に連携開催を声がけ実現。

【目的】 オールジャパンでの医療機器開発に 資するネットワークの構築

17の支援機関・団体・自治体が連携実施

【主催】

- 日本の技術をいのちのために委員会
- 日本医工ものづくりコモンズ
- 東大阪市 ●東大阪市産業創造勤労者支援機構

【連携支援機関・団体】

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ●山形県産業技術支援機構（山形県） | ●東京都中小企業振興公社（東京都） |
| ●東京都医工連携HUB機構（東京都） | ●板橋区産業振興公社（板橋区） |
| ●日本インダストリアルデザイナー協会【JIDA】 | （東京都） |
| ●やまなし産業支援機構（山梨県） | ●名古屋商工会議所（名古屋市） |
| ●京都産業21（京都府） | ●大阪産業技術研究所（大阪府） |
| ●大阪商工会議所（大阪市） | ●医療健康機器開発協会（大阪） |
| ●神戸医療産業都市推進機構（神戸市） | ●ひろしま産業振興機構（広島県） |



「オンラインマッチング商談会」 -オールジャパンでの医療機器開発を目指して-

【開催日時】 2020年3月17日 10:00~17:00

【開催方法】 オンラインにて

- 医療分野で実績のある、活用が期待できる技術・素材・製品・サービスを有する企業によるプレゼンテーション（24社）
- 医工連携、医療機器開発のキーパーソンによる特別講演（全国5箇所から）

【プログラム】

10:00-10:20	開会の挨拶
10:20-11:00	企業プレゼン1
11:00-11:40	特別講演1
11:40-12:20	企業プレゼン2
12:20-13:00	特別講演2
13:00-13:40	企業プレゼン3
13:50-14:30	特別講演3
14:30-15:10	企業プレゼン4
15:20-16:00	特別講演4
16:00-16:40	企業プレゼン5
16:40-17:00	閉会の挨拶

【実績】 参加者：約300名
面談件数：31件
資料請求：117件

日本医工ものづくりコモンズ 日本の技術をいのちのために委員会
東大阪市はじめ17支援機関によるオールジャパン体制

日本初! オンライン・マッチング商談会
オールジャパンによる医療機器開発を目指して

3月17日10:00 開会

日本の技術をいのちのために委員会
理事長 妙中 義之

日本医工ものづくりコモンズ
理事長 谷下 一夫

オンラインマッチング商談会 3月17日(火)
オールジャパンでの医療機器開発を目指して

特別講演 1 11:00-11:40

日本からめざす
医療機器開発のスペシャリスト
大阪大学メディカルデバイス
デザインコースとは

岡山 慶太 大阪大学
国際医工情報センター

オンラインマッチング商談会 3月17日(火)
オールジャパンでの医療機器開発を目指して

特別講演 2 12:20-13:00

経済産業省 所属の
臨床工学技士 が語る
医工連携事業化推進事業の
今後の展望について

吉田 哲也 経済産業省
医療・福祉機器産業室

オンラインマッチング商談会 3月17日(火)
オールジャパンでの医療機器開発を目指して

特別講演 3 13:50-14:30

臨床現場からのちえづくり®
オープンイノベーションで
社会実装を!!

島田 順一 京都府立医科大学
呼吸器外科学

オンラインマッチング商談会 3月17日(火)
オールジャパンでの医療機器開発を目指して

特別講演 4 15:20-16:00

CTガイド下IVR用針穿刺
医療用ロボットの開発
医師主導治験までの道のり

平木 隆夫 岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科 放射線医学

東大阪市医工連携プロジェクト 医療・健康・介護機器企業様限定

東大阪モノづくり
企業ツアー
始めました。



【本事業の狙い・メリット】

●東大阪の一押しの技術、強みを医療機器業界団体や支援機関などの協力のもと、首都圏や関西を中心とする全国の医療機器企業に情報を発信。

（連携機関）

関西医療機器支援ネットワーク／日本医療機器協会／東京都医工連携HUB機構／日本医工研究所
日本医工ものづくりコモンズ／MedtecJapan主催社／大阪医療機器協会 他

●市内企業にとっては、コストをかけず、医療機器企業を自社の工場、事業所に受け入れ、ホームページや展示会では伝えきれない魅力を伝えることが出来、確度の高い商談が実現。

【開催実績】

- ツアー参加企業：27社
- 面談件数：103件



世界最大の医療機器展示会 「MEDICA/COMAPMED2023」への挑戦

ドイツ@デュッセルドルフ 2023年11月
(大阪府・ジェトロ大阪本部共催事業)



サンコー技研(株)



木田バルブ・ボール(株)

市内企業2社が出展



大阪ブース



●デュッセルドルフ商工会議所
との意見交換

【Topic】 近畿経済産業局 医療機器分野参入成功事例に掲載

関西の医療機器メーカーに、関西のモノづくり企業が応えた関西発の医療機器

株式会社仁張工作所 × 大研医器株式会社 医療用吸引器「クーデックバイロン」



【製品の特徴・背景】

- 本製品は「①手術中に排泄された血液や体液を吸引して貯めるディスプレイブル吸引器（医療機器）」と「②排液量が測れるモニター及び吸引器を載せる架台（非医療機器）」が一体となったもの。
- 本製品の前身モデルである「フィットフィックス」は、1990年に販売開始。現在では、世界13か国、年間累計600万本の販売実績があり、2020年に改良製品を開発するにあたり、②吸引器を載せる架台を作れる企業を探索していた。



【受注に至ったモノづくり企業側のポイント】

- ①市場性の確認：トップシェアを誇る製販ドリブン案件
- ②メーカーからの依頼内容への対応：
素早く試作し、イメージを具現化するだけでなく、設計図を見ながら、工程の簡略化や溶接方法の変更を提案するなど、メーカーに寄り添った対応で信頼関係を構築。
- ③自社で対応出来ない加工：東大阪市内の企業間ネットワークにより体制を補完



東大阪市府役所公式
YouTubeチャンネル

東大阪市・（公財）東大阪市産業創造勤労者支援機構は、近畿経済産業局が進める「**関西医療機器産業支援ネットワーク**」（通称：**かめさんネット**）の連携支援機関として参画しています。

本ネットワークでは医療機器企業の機器開発ニーズに基づく市場性、出口戦略を見据えた支援を行うことにより、ものづくり企業の医療機器市場への参入加速化及び関西医療機器市場の活性化を目指して「コーディネータ連携事業」、「医療機器企業への売り込み商談会（マッチング商談会）」等を実施するなど、関西の医療機器産業支援機関との緩やかなネットワークを構築します。



【Topic】 大阪大学×東大阪モノづくり

命を守るフルフェイスシールドをいち早く医療現場へ 「HANDAIシールド」量産プロジェクト

令和2年3月～4月にかけて、ウイルスによる飛沫・接触感染から医療従事者を守るためのマスクやシールドなどの防護具が、全国で不足するという事態に陥りました。

そんな中、4月上旬に大阪大学大学院医学系研究科中島清一特任教授らが、3Dプリンターで作成したフレームとクリアファイルで顔を保護するフルフェイスシールドを開発し、データが無料公開されました。

そして、医療現場の需要と備蓄・供給状況から、一刻も早く量産体制を整える必要があることから、「モノづくりのまち東大阪」に協力の要請があり、市内企業から3社が名乗りを上げました。



(出典) READYFOR ホームページより

約2ヶ月で20万個のフレームと60万枚のシールド材を無償配布完了！

本プロジェクトは、クラウドファンディングにより本当に多くの方々からの応援をいただき、6月末までに市内企業を含む4つの協力工場により、全国の感染症指定病院など300以上の医療機関へ20万個のフレームと60万枚のシールド材について、無償配布をいたしました。



【フレームの量産】
甲子化学工業株式会社



【フレームの量産】
株式会社モールドサポート



【金型製作】
藤塚精密工業株式会社

東大阪コロナ対策商品開発プロジェクト



- 緊急企画 -

コロナ対策ニーズソン

主催 NPO法人まもるをまもる 4/18(土)&19(日) 2日連続開催

「コロナウイルス感染対策商品」を
テーマに臨床現場ニーズソンを開催
4/18(土)・19(日) 計8時間
「ZOOM」にてオンライン開催
医療者・モノづくり企業など200名が参加
主催：NPO法人まもるをまもる

命を救う
そのニーズ・アイデアを
東大阪がカタチに。

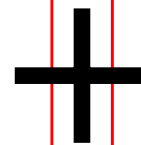
東大阪市コロナ対策商品開発プロジェクト



【募集テーマ】

コロナ感染対策製品・デバイス
院内での感染リスク低減

【緊急企画】臨床工学技士×東大阪モノづくり



日本臨床工学技士会協力の元
全国の臨床工学技士からニーズを募集
「コロナウイルス感染対策商品」
「今すぐに医療現場で求められるもの」
応募締め切り：4/24（金）

上記の取り組みなどにより全国から
のニーズが寄せられる

45件 ▶

●医療者、感染制御に詳しい方、弁理士、医療
機器企業など専門家による検討会議を開催
→ 確度の高い案件を企業とマッチング

新規受注

人的ネットワークの獲得

営業力・提案力の向上

情報発信の強化

製品開発・技術研究

知識の取得

大阪産業技術研究所と共催されている「医療機器ビジネス参入のための人材育成プログラム」は、現在進行形の医療機器ビジネスを体系的に網羅的に勉強でき、大変素晴らしいプログラムでした。最前線で活躍されている先生とのネットワーキング、新ビジネスやアイデアに関する助言、本来であれば、到底無理であろう国立大学病院内での実証テストなど、本当にこのプログラムを通じて、色々なチャレンジができました。今後も毎年続けていけば、素晴らしい成果が出てくることと思います。

また、昨年参加したオンライン商談会を通じて、研究会参加当初から念願であった「バイオセンサー基板」に関する案件について、大手医療機器企業から共同開発の案件を頂きました。市場性という点からも、今後益々「医療」と「センサー基板」の接点が増えることが予測され、弊社が培ってきた基板加工技術・ICチップ実装技術・1億枚超の量産知見が全て発揮できる内容となっており、是非ともこのチャンスを掴みたいと考えています。

人的ネットワークの獲得

情報発信の強化

弊社は、自社製品を販社などを通して、直接販売しているわけではないので、販社とのつながりもなく、販売網・市場からの受託開発の相手先を見つけることも難しいのが現状です。

医療機器は、その分野ごとの専門性、安全性の確保等の観点から、一朝一夕に受託できるものではないことも十分承知しているので、本事業を通じて繋がりを広げていけることは、我々のような立場の企業にとっても、非常にありがたく考えています。我々は、部品供給者の立場ではなく、製品の供給者の立場ですので、受託できる相手も限られており、なかなか成約に至らないことも実情ではありますので、今後とも本事業を活用させていただきながら、地道に探索していきたいと考えています。

新規受注

営業力・提案力の向上

弊社経営を取り巻く環境に於いて、必要とする営業構造の課題として「新規顧客の創造」があります。東大阪市の医工連携事業は、その課題の解決に向けた取り組みにマッチしており、非常に有効的であるとの考えから、参加しています。

中でも、展示会への共同出展等の企画については、医療機器業界の現況や考え方などを知ることができ、具体的な御会社と「商談の機会を効率的に持てる」こと、異業種企業様と一体に取り組む事で「異業種交流が図られる」こと、出展方法および必要な準備、プレゼン、実行委員会開催等に携わらせてもらう事で「営業力向上」にも繋がっています。協同体で取り組めることで、それらに係る経費等も少なく、逆に得られるものは大きく、弊社としては一石二鳥どころか数多くのメリットがあり、非常に満足しています。今後も、市の医工連携事業が継続される限り、参加させて頂く意向です。

新規受注

人的ネットワークの獲得

新たな雇用

医療業界に参入するにあたって必要なことを、総合的にサポートしていただいた結果、約2年で医療業界に参入し、自社商品を販売するなどの結果を残すことが出来ました。

①知識・人脈の習得

医療業界の法規制や商習慣、現実などを「医工連携研究会」や各種セミナーで学び、習得することができました。また、医療に詳しい専門家との人脈を構築することができました。

②現場実習（手術室・病院）

市の連携先である大阪大学にて開催された手術室や病院見学会、医師との交流会などで、実際の医療現場を肌で感じる事ができた。また、実際に医師や看護師とコミュニケーションを取ることで、現場の視点や考え方を学ぶことができた。

③医療機関およびマスコミへの情報提供

市が各機関へ企業の取り組みを発信したことにより、大きなマーケティング効果を得ることができた。これにより商品の売上や新たな受注が増加しました。